

平成21年1月9日

各 位

会社名 株式会社 オータケ  
 代表者 代表取締役社長 吉川 富雄  
 (JASDAQ・コード7434)  
 問合せ先 取締役経理部長 堀部 浩市  
 TEL (052) 562-3311 (代表)

### 業績予想の修正に関するお知らせ

最近の業績動向等を踏まえ、平成20年7月10日の決算発表時に公表いたしました平成21年5月期(平成20年6月1日から平成21年5月31日)の業績予想を下記のとおり修正いたします。

#### 記

#### 1. 平成21年5月期 通期業績予想数値の修正(平成20年6月1日から平成21年5月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株あたり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	30,000	1,130	1,230	730	170.39
今回発表予想(B)	27,000	800	900	510	119.04
増減額(B-A)	△3,000	△330	△330	△220	△51.35
増減率(%)	△10.0	△29.2	△26.8	△30.1	△30.1
(参考)前期実績 (平成20年5月期)	29,015	1,104	1,205	740	172.86

#### 2. 修正理由

平成21年5月期の通期の業績につきましては、第1四半期の決算短信を発表しました平成20年10月7日時点までは、従来から取り組んでいた既存取引先でのシェアの拡大や、新規取引先の開拓による売上の維持拡大を図ることにより十分に業績予想を達成できると判断していました。しかし、7月以降、自動車産業を中心に、設備投資計画の中止等が次々に発表されるに至り、当社の属する管材業界においても10月以降予想を超えた急激な需要の減少となり、10月、11月の売上は大幅に予想を下回る結果となりました。また、今後も市況の回復の兆しはなく、一層悪化の様相を呈してまいりました。このため、売上高は前回発表の予想を下回る見通しとなりました。利益面におきましても、売上高の減少に加え、競争激化による売上総利益が低下したにもかかわらず、販管費の削減が追いつかなかったため、営業利益、経常利益、当期純利益ともに前回発表予想を下回る見通しとなりました。

(注) 上記の予想数値につきましては、発表日現在において入手可能な情報に基づいて作成したものであり、実際の業績は、今後さまざまな要因によって予想数値と異なる場合があります。

以上